

授業 科目	CC1E28	2 単位	選択	講義	1 学年後期	担当 教員	教授 櫻井 ますみ						
	健康												
授業 の 概 要	①現代の子どもの状況や問題を理解し、生涯にわたる健康の基礎となる乳幼児期の健康について考える力を培う。 ②子どもの体の発達や運動発達を理解し、子どもに必要な体験とは何かを学ぶ。 ③子どもの身体的・心理的・社会的側面における発達を理解し、人間の能力や可能性を伸ばす環境の在り方を考える力を養う。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。								◎	◎	○			
2. 乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。								◎	◎	○			
3. 乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。								◎	◎	○			
4. 乳幼児期の遊びの意義と自然環境への関わりの方の大切さを理解する。						◎		◎	◎	○		○	
5. 子どもを取り巻く環境に関心を持ち、その問題点、改善の方策を考える。						◎		◎	◎	○		○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標						復 習				
1	オリエンテーション 健康とは何か	シラバスに目を通す。 ノートとファイルを準備する。	・授業の流れ・学習方法を理解する。 ・評価方法を理解する。 ・健康とは何かを考える。						教科書と配布資料を確認する。				
2	健康とは何か	学習範囲を確認し、教科書を読 んでおく。	・健康で安全な生活とは何かを理解する。 ・乳幼児期の健康な生活について理解する。 ・体を動かす子どもを育てるために必要なこととは何か。						健康な生活を送るには、どんな要素があるか考えてくる。				
3	乳幼児の健康な生活の基 盤にあるもの	子どもが、日常生活を健康に生 きるために何が必要なのかを 考える。	・形態的発育の特徴を理解する。 ・生理的機能の発達を理解する。 ・身長、体重、胸囲、頭囲、歯、骨の発達について ・成長発達の原則について						教員から配布されたワークシ ートについて、自分なりにまと める。				
4	乳幼児期の健康の日常を 作る要素	子どもが健康に生きる上で、保 育者としての行動を考える。	・基本的生活習慣について学ぶ。 ・基本的生活習慣を維持するための知識、環境について理 解する。。						自分の日常を振り返る。				
5	乳幼児期の生活と脳	日常生活の反省点と良い点を 列挙してくる。	・基本的生活習慣を作る脳の働きについて学ぶ。 ・基本的生活習慣が破壊された時、何が起きるか考える。						DVD と配布資料を確認し、自分 なりに何が大切か考える。				
6	子どもの健康と自然環境	学習範囲を確認し、教科書を読 んでおく。	・子どもの健康と自然環境について理解する。 ・子どもと自然の問題について理解する。 ・自然の中での子どもの遊びについて理解する。						実際の授業で、何を感じたか振り 返る。				
7	子どもの健康と遊び	学習範囲を確認し、教科書を読 んでおく。	・子どもにとっての遊びについて理解する。 ・子どもの遊びの発達について理解する。 ・子どもの興味を引き出す環境構成について理解する。						どんな遊びを子どもとしたいか 考えておく。				
8	子どもの発達と事故	学習範囲を確認し、教科書を読 んでおく。	・子どもの行動の特徴について理解する。 ・子どものけがや事故の実態について理解する。						教科書と配布資料を確認し、自分 なりに大切なキーワードを書く。				

9	子どもの発達と事故	学習範囲を確認し、教科書を読 んでおく。	・子どもの遊びにおける危険性と事故について理解する。 ・子どものけがの予防と安全管理について理解する。 ・安全な園生活を送るための方法を理解する。 ・事故が起きた場合の対応について理解する。 ・遊びの中で育む安全意識について理解する。	教科書を確認する。
10	子どもの運動遊び	運動遊びについて、調べてお く。	・図書館を利用して、子どもの運動遊びの例を探してみる。 ・たくさんの運動遊びについて、年齢別の特徴を考える。 ・発表の準備をする。	発表できるように、計画案を練 る。
11	子どもの発達と運動	計画案を用意する。	【演習】 グループワークか個人発表 ・実際に運動遊びをする。 ・子ども目線になって実技をし、興味と危険を体験する。	発表に対しての工夫や感想をま とめる。
12	子どもの発達と運動	計画案を用意する。	【演習】 グループワークか個人発表 ・実際に運動遊びをする。 ・子ども目線になって気づいたことをまとめて発表する。 ・グループごとの意見交換会を通し、理解を深める。	発表に対しての工夫や感想をま とめる。
13	子どもの発達と運動	計画案を用意する。	【演習】 グループワークか個人発表 ・実際に運動遊びをする。 ・子ども目線になって気づいたことをまとめて発表する。 ・グループごとの意見交換会を通し、理解を深める。	発表に対しての工夫や感想をま とめる。
14	子どもの発達と運動	計画案を用意する。	【演習】 グループワークか個人発表 ・実際に運動遊びをする。 ・子ども目線になって気づいたことをまとめて発表する。 ・グループごとの意見交換会を通し、理解を深める。	発表に対しての工夫や感想をま とめる。
15	まとめ	これまでの学習を振り返って おく。	子どもの健康に対する自分なりの考えをまとめる。 こどもの運動遊びについての指導案を書く。	指導案を完成させる。
成績 評価	授業への取り組み・グループでの演習と個人発表 (20%) 課題・レポートの提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計 100% ※グループでの演習や発表へ参加度を重視する。 ※自らの健康を考え、学内の散歩も予定している。天候で変わり授業順が移動することもあり得る。 ※レポートは、テーマを理解し、自ら調べ、自らの視点を持って考察しているかを評価基準とする。			
教員 からの コメ ント	① 選択授業であるため、グループワークなど学生の数によってシラバス通りに行かないこともある。 ② 子どもの運動遊びについて、たくさん情報を得よう。 ③ グループでの演習や個人発表を通し、子どもの健康問題に対する解決方法を自分なりに模索しよう。 ④ 子どもの健康に関するニュースや統計に関し、常に自分なりの考えを持って過ごすそう。			
教科書	書 名 保育内容 健康 著 者 河邊 貴子 発行所 建帛社	推薦 図書	随時提示する。	